7トンの重りの下敷き　60歳男性死亡

2014年11月24日(月)18時45分

２３日午後２時４０分ごろ、千葉県のの製鉄所で、**協力会社**の男性（６０）が**重さ7トンの重りの下敷き**となった。約１１時間後の２４日午前１時１５分に救出されたが、肋骨（ろっこつ）や骨盤などを骨折。死亡が確認された。警察などによると、重りは石炭を運ぶベルトコンベヤーの張りを一定に保つためのもので、男性は同僚３人と２３日朝から補修作業をしていた。

”ぼんやり”は、事故のもと、緊張感をもって！

自宅を出る前、会社を出る前、後方確認・周囲の確認

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

バック時は　**降りて**確認　**乗っても**確認

2時間ごとに、15分休憩！

～　夕暮れ時間帯、右からの横断　～

暗くなるのが早く、横断する歩行者などの発見が遅れがちになります

追突、玉突き事故を防ぐ

交差点手前で止まる時は、**車1台分のスペース**を空けて止まる

交差点　「右左確認／よ～し！」

◆**左折**時は、**死角**を認識し、安全確認

◆**右折**時は、**対向車**だけでなく、**横断歩行者**にも注意

午後5時　三笠　ミキサー車にはねられ死亡

雨降り　信号や横断歩道はないところを横断中

2014/11/25

24日午後4時50分ころ、三笠市岡山の道道で、道路を横断していた無職の女性(86)がコンクリートミキサー車にはねられ、全身を強く打って死亡した。三笠署は自動車運転処罰法違反（過失致傷）の疑いで、ミキサー車を運転していた、運転手の男性容疑者(65)を現行犯逮捕した。同署によると、現場は中央分離帯のある片側2車線の直線道路で、信号や横断歩道はない。事故当時は雨で路面がぬれていた。

比布　はみ出し、大型トレーラーと正面衝突

乗用車の大学院生死亡、１人重体２人重傷

近くに『タヌキの死骸』、事故との関係を調査中

（2014/11/24 14:52）

２４日午前５時ごろ、上川管内比布町基線１号の国道４０号で、４人乗りの乗用車とトレーラーが正面衝突した。乗用車は大破し、運転していた男子大学院生（２４）は搬送先の病院で死亡が確認された。旭川中央署によると、乗用車に同乗していた２０代とみられる女性が意識不明の重体。男性（２５）と女性（２０）も重傷のもよう。トレーラーの男性運転手（４２）も足に痛みを訴えているという。同署によると、現場は片側１車線の直線。乗用車が対向車線をはみ出したとみられ、詳しい事故の状況を調べている。

交差点　右折の乗用車と観光バスが衝突

（2014/11/24 18:37）

２４日午後３時ごろ、大分県の交差点で大型観光バスと乗用車が衝突する事故があり、乗客ら２人がけがをしました。バスには乗客ら２８人が乗っていて、このうち８２歳の女性が座席で頭を打ち、病院で手当てを受けました。また、車を運転していた２１歳の男性も軽いけがをしました。現場は国道と県道が交わる信号機のある交差点です。バスは国道を直進中、右折のため交差点に進入してきた乗用車と衝突したとみられています。